インターンシップを終えて

大学４学年

　私は将来、人権を守ることの大切さを広めていく仕事がしたいと考えています。その為の一歩として、春休み期間を利用して、五日間のインターンに参加しました。インターン期間中は、主にライブラリー業務を担当しました。様々な文献を閲覧させていただく中で、人権の大切さを伝える活動は人権啓発推進センターに限らず、各都道府県や市町村単位でも行われていることを知りました。また他に、ビデオセミナーや講演会の開催に向けた準備などを経験し、様々な方法で啓発活動が行われていることを知りました。

　人権と聞くと、人によっては難しいとか堅苦しいイメージがあるかもしれません。しかし、人権は誰しもに平等に備わっている権利であり、それは人種や民族、性別、障害のあるなしを超えたものだと思います。私が、人権に興味を持つきっかけとなったのは「ハンセン病の歴史」を学んだことがきっかけでした。人権を考えることや、知っていくことは自分自身を大切にすることに繋がり、隣の人を思いやる気持ちをもてるきっかけになると考えます。

私は、これからも自主的に人権について学び続けていきます。また、自分が得た知識や気づきを受け取る側が理解しやすい形で伝える活動に取り組んでいきたいです。

（本寄稿は、平成28年度において実習を受けた学生からのものです。）